

チャペル週報

No.13

2025.6.30～7.4

平和を造る人々は、幸いである

その人たちは神の子と呼ばれる。

マタイによる福音書 5 章 9 節



神戸三田キャンパスランバス記念礼拝堂

関西学院宗教センター



チャペル・スケジュール

時 間:西宮上ヶ原キャンパス・西宮聖和キャンパス 10:30~11:00 神戸三田キャンパス 10:40~11:10
場 所:各学部チャペル(ランバスチャペルアワーは西宮上ヶ原キャンパスランバス記念礼拝堂)

6月30日(月)	神 人 建 短大	細見 和志(総合政策学部教授) 林 眞帆(人間福祉学部准教授) 音楽チャペル 関西学院室内合奏団 白倉クラス ダッドレーチャペル
7月1日(火)	神 文 社 法 経 商 国 理・工・生環 総 教	森本 典子(神学部専任講師) Andreas Rusterholz(宗教主事) 私の好きな聖書の言葉① Timothy O. Benedict(宣教師、社会学部准教授) 鄭 詩温(在日大韓基督教会武庫川教会牧師) 献血実行委員会 献血実行委員会 平林 孝裕(宗教主事) 上内 鏡子(日本キリスト教団神戸イエス団教会牧師) 渋谷 和久(総合政策学部教授) 献血実行委員会
7月2日(水)	神 社 法 商 人 国 理・工・生環 教	説教学演習 A 朴 鍾明(神学研究科 M1 年) 音楽チャペル Merveille(関西学院グリークラブ アカペラカルテット) Chapel in English Christian M. Hermansen(宣教師、法学部教授) 中村 嘉孝(商学部教授) 嶺重 淑(宗教主事) 学生活動報告③ 献血実行委員会 竹内 富久恵(日本キリスト教団神戸愛生伝道所/北須磨教会牧師) 丹羽 登(教育学部教授)
7月3日(木)	神 文 社 法 経 商 人 国 総 短大	小谷 正登(教職教育研究センター教授) Andreas Rusterholz(宗教主事) 私の好きな聖書の言葉② 李 善恵(宣教師、人間福祉学部教授) 大宮 有博(宗教主事) 第6回能登半島地震ボランティア報告 ヒューマン・サービス支援室 Esben Petersen(宣教師、神学部助教) 竹佐古 真希(関西学院オルガニスト) Chapel in English Christian Triebel(宣教師、学長直属准教授) 榊田 青花(総合政策学部4年) 松隈 協(高等部宗教主事)
7月4日(金)	ランバス 神 文 経 理・工・生環	学期末を迎えて 打樋 啓史(宗教総主事) 音楽チャペル 混声合唱団エゴラド Chapel in English Andreas Rusterholz(宗教主事) 平和への祈り① 李 善恵(宣教師、人間福祉学部教授) Christian Triebel(宣教師、学長直属准教授)

◇ランバス早天祈祷会 毎週金曜日 8:10~8:30 ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

7月4日(金) 高等部のために 枝川 豊(高等部長)

Zoom での参加希望の教職員・学生等の方は、QRコードを読み込みお申込みください。



ブナの森から学ぶ、見えない価値の大切さ

児島 幸治

島国日本には 1 万 4 千を超える島があり、そのほとんどが離島です。離島には、自然の豊かさ、強いコミュニティ、地域貢献に自ら関わることができる魅力がありますが、同時にインフラの不足、交通の不便さ、医療の限界、教育や雇用機会の不足など、課題も多く存在しています。私が離島を研究フィールドの一つに選んだ理由は、こうした課題の最前線であり、持続可能な地域社会の新たなモデルを模索することが可能だと考えたからです。

これまで様々な有人離島を訪問しましたが、中でも印象深かったのは奥尻島での出会いです。ゲストハウス「imacoco」の外崎さんとの交流を通じ、自然と共生する生き方や、人間が本来求める幸福について深く考えさせられました。

奥尻島で訪れたブナの森は、「櫛」という漢字が示すように、役に立たないとされてきた歴史があります。水分を多く含み、木材として使いにくいブナの木は、かつて大規模な伐採の対象となり、多くがスギなどの樹木に置き換えられました。しかし実際のブナの森は、豊かな生態系を支え、多くの生き物の命を育み、水質を保つ重要な機能を果たしており、「緑のダム」と称されています。また、この森で見た透明な花「サンカヨウ」は、特定の条件下で短期間のみその美しさを見せ、見る者に静かな感動を与えます。

さらにブナの森に点在するホオノキの種子は、20 年以上も土中で眠り続け、適切な光を受けた瞬間に発芽します。これは、20 年以上もの生命を次世代に託した親木への感謝や、機が熟すまでじっと耐える姿勢、目には見えない努力の重要性を教えてくれます。

アイヌ民族の信仰では、世界はカムイ（神々）と人間が相互に影響し合って成り立つとされています。彼らの自然との共生の思想は、現代に生きる私たちにも重要な示唆を与えてくれます。

現代社会は便利さを追求するあまり、感謝の心や幸福の本質を見失いがちです。外崎さんの言葉を借りれば、「有り難い」の真意に気づきにくくなっています。「便利」の中で失われた大切なものを再発見するために、離島を訪れ、「自分の木」を見つける旅に出てみてはいかがでしょうか。それは、自らを再認識し、本当の豊かさを感じる大切な一歩になるはずです。

（国際学部教授）

●院長室から発信！ビデオメッセージ「風に思う」配信のご案内

関西学院はキリスト教主義教育を理念として、Mastery for Service というスクールモットーを持っています。メッセージビデオ「風に思う」では、関西学院の土台である聖書の言葉やキリスト教の思想をもとにした院長室スタッフからのメッセージや、学院で Mastery for Service の精神を体現する学生団体等と院長との対談をお届けします。皆様の心の糧となれば幸いです。



<https://ef.kwansei.ac.jp/about/kazeniomou> 「風に思う」関西学院 院長室からのメッセージ(HP)

●大阪梅田キャンパスチャペル

授急大阪梅田駅から徒歩すぐ、アプロースタワー14 階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の月1回チャペルアワーを実施しています。場所は1405 教室です。どなたでもご自由にご参加ください。

7 月 17 日(木) 17:50~18:10 打樋 啓史(宗教総主事)

●ランバスチャペル・ヌーンコンサート

西宮上ヶ原キャンパスの正門に入って右手に見えるチャペル「ランバス記念礼拝堂」では、礼拝はもちろん、コンサートや式典、講演会、結婚式などが行われています。4月から関西学院大学内の様々な音楽団体によるヌーンコンサートが開かれています。お昼休みのひととき、どうぞ耳を傾けてみてください。

7 月 3 日(木) 関西学院聖歌隊

いずれも 12:45~13:15 <入場無料>

場 所：ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)

主 催：宗教センター・宗教音楽委員会

●夏の献血週間(西宮上ヶ原キャンパス)のお知らせ

宗教総部では、夏の献血週間を実施します。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆様のご協力をお願いします。

日 時：7 月 3 日(木)、4 日(金) 10:30~11:20/12:40~17:00

場 所：吉岡記念館ラウンジ、中央芝生横

主 催：宗教総部献血実行委員会

●関西学院会館ベーツチャペル日曜礼拝

授業期間中の第 2・第 4 日曜日(原則)の 10:00~11:00 に関西学院会館ベーツチャペルでは日曜礼拝を行っています。どなたでも(クリスチャンでなくとも)ご参加できますのでどうぞお越しください。

7 月 13 日(日) 10:00~11:00

◆CDライブラリー利用について

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

◆使用済み切手収集にご協力ください

本学では「日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)切手部」の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますので、どうぞ吉岡記念館事務室へお届けください。

<郵送先>

〒662-8501 西宮市上ヶ原一番町 1-155 関西学院吉岡記念館事務室宗教センター宛

◆盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室はじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。